

山口県豪雨災害の発生からの流れ

※山口曹青から『般若』のボランティア情報へ提供された情報を中心に構成しています。

●7月21日

- ・集中豪雨に見舞われた影響で、土石流や土砂崩れが相次いで発生
- ・山口県が災害対策本部を設置し、自衛隊に災害派遣の出動を要請

●同 22日

- ・災害救助法が山口市・防府市に適用される

●同 23日

- ・「防府市・佐波川流域災害ボランティアセンター」設置
- ・山口曹青からの現地報告①を『般若』にアップ
→中心被災地の様子や曹洞宗寺院の被災状況について

●同 24日

- ・山口曹青からの現地報告②を『般若』にアップ
→ボランティアセンターについて

●同 25日

- ・全曹青で独自に情報収集し、『般若』にアップ
→義援金、ボランティア募集、気象状況など

●同 26日

- ・山口曹青からの現地報告③を『般若』にアップ
→本格的なボランティア活動に向けた初動報告と山口県曹青の義援金の受取り窓口について

●同 27日

- ・山口曹青からの現地報告④を『般若』にアップ
→現地報告

●同 28日

- ・山口曹青からの現地報告⑤を『般若』にアップ
→ボランティア活動初日の様子と現地報告

●同 29日

- ・山口曹青からの現地報告⑥を『般若』にアップ
→ボランティア活動二日目の様子と現地報告、県内宗門寺院の被災状況の報告

●同 30日

- ・山口曹青からの現地報告⑦を『般若』にアップ
→ボランティア活動三日目の様子と現地報告

●同 31日

- ・山口曹青からの現地報告⑧を『般若』にアップ
→ボランティア活動四日目の様子と現地報告、義援金・救援物資の受け取り状況、防府市による義援金受付開始・山口市のボランティアセンター設置について
- ・ボランティア受付場所の変更の報告、お盆のボランティア活動の情報を『般若』にアップ

●8月1日

- ・山口曹青からの現地報告⑨を『般若』にアップ
→ボランティア活動5日目の様子と現地報告、現地活動の一時休止と義援金受付・タオル収集(土砂撤去作業用)の継続について。



写真左：
防府市台道・観音寺さまの被災状況。お寺に直接被害はありませんでした。

難所や親戚の家に寝泊まりをしなから、片付けに通います。疲れた顔をしながらも、ボランティアに顔をあわす度に頭を下げ、お礼を言われている姿が心に残りました。

8月末現在の状況ですが、ボランティアセンターが閉所され、地元社会福祉協議会に活動が移行することになっていきます。また被災者の数がさほど多くないことから、仮設住宅などは建設せず、市営住宅・県営住宅への受け入れ、または民間住宅入居の費用補助をする事が決定し、入居場所もほぼ決まっているとのことでした。

しかし、完全復旧には時間がかかることが予想されています。避難所などもほぼ終了していることから、能登の時のよう

に行茶活動を行う場はありませんが、被災した地域のお寺さんを通じて、慰問に伺うなどしたいと考えています。復興状況と、被災者の復帰状況により具体的な活動は変わってくるでしょうが、「被災者の心に寄り添う」活動を行っていければと思います。

末筆ながら、活動表明後に全曹青ボランティア関係者・SVAの担当者からアドバイスを頂けたことがとても助かりました。また過去の災害現場での活動から「曹洞宗青年会」に大きな信頼があり、ボランティアセンターとの連絡をスムーズに取ることが出来ました。この場を借りて御礼申し上げます。

(報告 山口県曹洞宗青年会 会長 大野泰生)

summary

サマリー・レポート

in 災害復興支援部

この夏には災害が続発しました。今回は山口県曹青がまとめた復旧活動をされましたので紹介させていただきます。他にも個人等で様々に活動されている方がいらつしやるかもしれません。その中で今回活動紹介をさせていただいたのは、活動を他に奨励するというよりも、その活



写真右：
防府市・天神商店街に設置されたボランティア受付入り口の張り紙

動内容を知っていたり、感謝の気持ちも被災につながると考えたからです。

全曹青では、ボランティア活動は自分の想いだけでなく相手の想いや願いに根ざし、善意を一方的に送るものであってもならないと考えています。そのような中、私たちの関わり方はさまざまにあると思います。今回の山口県曹青の方々は、地域から地域の為に地域とともに復興への活動をされました。そこにおいては、人と人との信頼やつながりなど、全曹青も学ぶことが多くありました。救援活動が終わっても復興には様々なかわり方があります。また、自分と周囲を見れば身の回り課題はあると思います。普段の地域のつながりや課題に対する活動も防災へとつながるでしょう。

義援金の受付については、『般若』をご参照下さい。